

2019年度

ITエンジニア科
4年制
講義計画集
— 第1学年 —

氏名

.....
船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051
.....

2019年度 (平成31年度) 年間計画表 1年生用

前期							後期																
4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1月	水	天皇の即位の日	1土	1木	月12回	1木	1火	火4回	1金	金8回 ひつえは総構	1日	1日	B検シヨブパス	1水	元日	1土	1日	1水	元日	1土	1日	1日	1日
2火	木	国民の休日	2日	2金	火12回	2金	2水	水4回	2土		2月	2月	月9回	2木		2日	2月	2木		2日	2月	2月	2月
3水	金	憲法記念日	3月	3土	水11回	3土	3木	木4回	3日	文化の日	3火	3火	火11回	3金		3日	3火	3金		3日	3火	3火	3火
4木	土	みどりの日	4火	4日	木12回 体育祭	4日	4木	金4回	4月	振替休日	4水	4水	水12回	4土		4土	4火	4土		4火	4火	4火	4火
5金	日	こどもの日	5水	5金	金12回	5月	5金	木4回	5土	金9回 ひつえは総構	5木	5木	木13回	5日		5日	5水	5日		5水	5水	5水	5水
6土	月	振替休日	6木	6土	土8回	6土	6火	金4回	6日	金8回	6金	6金	金13回	6水		6水	6金	6月		6水	6水	6水	6水
7日	火	火4回	7金	7水	金8回	7水	7木	月3回	7月	木9回	7土	7土	木9回	7木		7木	7土	7火		7金	7土	7土	7土
8月	水	前期スタート 月11回	8土	8木	月13回	8木	8火	火5回	8日	金9回 ひつえは総構	8日	8日	火9回	8水		8水	8土	8水		8土	8土	8土	8土
9火	木	木4回	9日	9金	火13回	9金	9火	水5回	9月	後期スタート 月11回	9月	9月	月10回	9水		9水	9月	9水		9日	9日	9日	9日
10水	土	金4回	10月	10土	水12回	10土	10水	木5回	10日	火10回	10火	10火	火12回	10木		10木	10金	10金		10月	10月	10月	10月
11木	日	山の日	11火	11日	木13回	11日	11木	金5回	11月	水1回	11水	11水	水13回	11金		11金	11土	11土		11火	11火	11火	11火
12金	月	振替休日	12水	12金	金13回	12月	12水	土5回	12日	木1回	12木	12木	火8回	12土		12土	12日	12日		12水	12水	12水	12水
13土	火	受 付	13木	13土	火14回	13火	13木	日5回	13日	金1回	13金	13金	水9回	13土		13土	13金	13金		13水	13水	13水	13水
14日	水	業 務	14火	14日	水14回	14水	14木	月6回	14月	土1回	14土	14土	木10回	14金		14金	14土	14火		14金	14金	14土	14土
15月	木	休 止	15火	15日	木14回	15日	15木	日6回	15日	日5回	15日	15日	金10回	15土		15土	15金	15水		15土	15土	15土	15土
16火	金	海の日	16水	16土	火14回	16金	16木	月6回	16月	水2回	16水	16水	水6回	16土		16土	16金	16水		16土	16土	16土	16土
17水	土	月10回	17木	17日	水13回	17日	17木	日6回	17日	火2回	17火	17火	木6回	17金		17金	17土	17水		17土	17土	17土	17土
18木	日	木14回	18火	18日	木14回	18日	18木	月6回	18月	水2回	18水	18水	金6回	18土		18土	18金	18水		18土	18土	18土	18土
19金	月	水9回	19水	19金	金14回	19月	19木	土5回	19日	木2回	19木	19木	火9回	19土		19土	19金	19水		19土	19土	19土	19土
20土	火	木10回	20木	20土	火15回	20火	20水	日5回	20日	金2回	20金	20金	水10回	20土		20土	20金	20水		20土	20土	20土	20土
21日	水	金10回	21火	21日	水14回	21日	21木	月4回	21月	土1回	21土	21土	木11回	21金		21金	21土	21水		21土	21土	21土	21土
22月	木	水5回	22水	22金	月14回	22月	22木	日5回	22日	日5回	22日	22日	金11回	22土		22土	22金	22水		22土	22土	22土	22土
23火	金	木6回	23木	23土	火15回	23火	23水	月7回	23月	月3回	23水	23水	水7回	23土		23土	23金	23水		23土	23土	23土	23土
24水	土	金6回	24木	24日	水14回	24日	24木	日7回	24日	火3回	24火	24火	木7回	24金		24金	24土	24水		24土	24土	24土	24土
25木	日	土8回	25水	25金	火11回	25火	25木	月7回	25月	水3回	25水	25水	金7回	25土		25土	25金	25水		25土	25土	25土	25土
26金	月	木10回	26木	26土	金15回	26月	26水	日5回	26日	木3回	26木	26木	土8回	26金		26金	26土	26水		26土	26土	26土	26土
27土	火	木11回	27水	27金	月11回	27火	27木	日5回	27日	金3回	27金	27金	水11回	27土		27土	27金	27水		27土	27土	27土	27土
28日	水	火7回	28木	28土	火11回	28火	28水	月5回	28月	土3回	28土	28土	木12回	28金		28金	28土	28水		28土	28土	28土	28土
29月	木	水6回	29水	29金	月15回	29月	29木	日5回	29日	日5回	29日	29日	金12回	29土		29土	29金	29水		29土	29土	29土	29土
30火	土	木7回	30木	30金	水15回	30水	30木	月2回	30月	月2回	30水	30水	土8回	30土		30土	30金	30水		30土	30土	30土	30土
31水	日	金7回	31木	31土	通試	31土	31木	日8回	31日	日8回	31日	31日	木8回	31土		31土	31金	31水		31土	31土	31土	31土
		※8日 月曜振替		※体育祭		※30日 水曜振替		※2日は全教職員研修 参加のため学校閉館		※30日 月曜振替		※台風など臨時休校 が多い時は12月3週 で対応		※9日 月曜振替 15日 月曜振替		※年間講義回数 月 30回 火 31回 水 32回 木 32回 金 32回							

ITエンジニア科4年制1学年

本校の教育方針	1
評価について／出欠席ルール	3
FJBネットID登録とメールアドレス	4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー	4
個人情報保護に関する基本方針	5
2019年度教育目標と検定スケジュール	6
ネットワークとセキュリティ	川島 慧	7
国家試験対策	川島・花田／森田	8
ハードウェア	花田 秀宣	9
ソフトウェア	花田 秀宣	10
システム設計	野本 修平	11
ストラテジとマネジメント	花田 秀宣	12
データベース	田所 博	13
Oracleデータベース設計	田所 博	14
表計算演習Ⅰ・Ⅱ	野本 修平	15
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・Ⅱ	川島 慧	17
Java言語演習Ⅰ・Ⅱ	川島 慧	19
検定対策Ⅰ・Ⅱ	川島・花田	21
就職講座BⅠ・Ⅱ	花田 秀宣	23
やってみなはれ演習Ⅰ・Ⅱ	川島 慧	25

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校長 鳥居 高之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいますからです。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるのでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され罰金の対象です

交通ルール

3号館前の大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 takatorii@chiba-fjb.ac.jp

以上

評価について

- (1) 評価とは成績証明書にA～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

A	80以上
B	50～79
C	40～49
D	39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
 - ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
 - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
 - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
 - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」

※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする

 - ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

FJBネットID登録とメールアドレス

1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「電子メール」「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

3. 緊急連絡網について

クラスの諸連絡、台風や大雪の休校連絡等で使用します。各自、常に最新の連絡先を更新するようにしてください。登録されたアドレスに連絡がつかない場合、自己責任となります。また、メール連絡の環境に無い場合は担任へ申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃（清掃時間を入り口に掲示）が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

3. 本校のパソコンに、ゲーム（その他ソフト）をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。（卒業研究等、必要な場合を除く）

6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやシャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。

また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
 - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
 - (2) 就職指導および就職活動支援を行うため
 - (3) 入学相談および募集活動を行うため
 - (4) 入学選考試験業務を行うため
 - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
 - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
 - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
 - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
 - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
 - (4) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
 - (5) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
 - (6) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長 鳥居 高之
047-425-1051
takatorii@chiba-fjb.ac.jp

平成31年度 教育目標と検定スケジュール

1年生

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発技術、ネットワーク技術、サーバ構築技術の習得 ・経済産業省認定情報処理技術者試験、シスコ技術者認定試験の取得 ・システム構築に必要な論理的思考能力の向上
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省基本情報技術者試験 ・経済産業省応用情報技術者試験 ・ CCENT、CCNA ・ オラクル認定Javaアソシエイト(Bronze)
1年次進級条件(資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ITパスポート試験 ・ MOS Excel
2年次進級条件(資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・ CCENT
卒業条件(資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字検定3級 ・ ジョブパス3級

ITエンジニア科4年制

<方針>

- ① 企業に役立つ高度な人材及び良き社会人としての成長を目指す
- ② プログラミング、設計技法に加え、ネットワーク、セキュリティの知識を習得し、多様な資格取得にチャレンジする
- ③ オブジェクト指向の基礎に留まらず、Webプログラミング技術を習得する

1年次:

- ・ アルゴリズムの授業に力を入れ、プログラミング力を高める
- ・ 基本情報技術者試験の合格を目指す

2年次:

- ・ シスコ技術者認定合格を目指し、ネットワーク技術を習得する
- ・ 自力でプログラムを組みめる力を身に付ける

3年次:

- ・ システム開発に取り組み、システムエンジニア・プログラマの実務に意識を高め、就職活動に備える
- ・ 知識だけでなく他人と共に働く力や自ら考え行動する力の向上を図る

4年次:

- ・ 卒業研究を通じて、技術力に加え、プレゼンテーション能力を身に付ける

1 学年

2 学年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1 ITパスポート試験													
2 経済産業省 基本情報技術者試験													
3 経済産業省 応用情報技術者試験													
4 経済産業省 高度情報技術者試験													
5 CCENT/CCNA													
6 SEA/J (CSBM) CompTIA Security+													
7 オラクル認定Java Bronze													
8 漢検3級													
9 ジョブパス3級													
10 MOS Excel													

(3年次に取得)

科目	ネットワークとセキュリティ	分類	専門科目
担当	川島 慧		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター基本情報技術者試験対策テキスト (FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	25%	0%	0%	25%	25%	25%	100%		

1. 授業の概要

ITパスポート試験、基本情報技術者試験合格に必要なかつ十分な「ネットワークとセキュリティ」の知識を身に付ける。

2. 授業の目標(検定取得など)

「ネットワークとセキュリティ」の基礎知識を押さえ、ITパスポート試験に合格を目指す。
「ネットワークとセキュリティ」の知識を応用し、基本情報技術者試験の午前修了認定試験の合格を目指す。

3. 注意点・要望

内容が非常に多岐にわたるため、予習と復習をしっかりと行うこと。
インプットの時間がほとんどとなるため、検定対策の時間でアウトプットをしっかりとすること。

4. 関連科目

検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	データ通信と制御	LANとWAN、ネットワーク機器の種類と役割、OSI基本参照モデル、MAC(メディアアクセス制御)
2	通信プロトコル	TCP/IP、IPアドレス、サブネットマスク、IPv6、ポート番号、DHCP、ネットワーク通信と電子メール関連プロトコル
3	ネットワーク方式	NATとNAPT、転送時間と回線利用率、IPアドレスの確認
4	ネットワーク管理、応用	ping、MIME
5	情報セキュリティの基礎(1)	3要素、ソーシャルエンジニアリング、マルウェアと不正プログラム、攻撃手法、暗号化アルゴリズム、パスワードの強度
6	情報セキュリティの基礎(2)	公開鍵暗号方式、デジタル署名、MAC、利用者認証、バイオメトリクス認証、公開鍵基盤
7	情報セキュリティ対策	アクセス権限、情報漏えい対策、コンピュータウイルスの検出方法、WAF、電子メールとWebセキュリティに関する技術的要素
8	情報セキュリティ実装技術	代表的なセキュアプロトコル、パケットフィルタリング
9	ITパスポート試験対策(1)	ITパスポート試験合格に向けた講義(不正のトライアングル、技術的脅威の補足)
10	ITパスポート試験対策(2)	ITパスポート試験合格に向けた講義(情報セキュリティ組織・機関)
11	ITパスポート試験対策(3)	ITパスポート試験合格に向けた講義(暗号化・認証技術の補足、情報セキュリティ対策)
12	ITパスポート試験対策(4)	ITパスポート試験合格に向けた講義(関連法規、ガイドライン)
13	ITパスポート試験対策(5)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習
14	ITパスポート試験対策(6)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習
15	前期試験期間	効果測定

備考

-

科目	国家試験対策	分類	専門科目
担当	川島 慧・花田 秀宣・森田 秀明		
テキスト (出版社)	01年【秋期】/02年【春期】 応用情報技術者 合格教本(技術評論社) 2020 基本情報技術者 午後試験対策(ITEC)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	10
	0%	0%	0%	50%	10%	40%	100%		

1. 授業の概要

基本情報技術者試験及び応用情報技術者試験の合格に向け、講義と問題演習を実施する。

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験及び応用情報技術者試験の合格。

3. 注意点・要望

試験合格を目指すのは勿論だが、社会に出てから必要となる基礎知識を確実に身に付けるべく取り組むこと。

4. 関連科目

システム設計、データベース、Oracleデータベース設計、アルゴリズムとデータ構造 I、ストラテジとマネジメント、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークとセキュリティ

週	テーマ	内容
1	基本情報技術者試験対策(1)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
2	基本情報技術者試験対策(2)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
3	基本情報技術者試験対策(3)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
4	基本情報技術者試験対策(4)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
5	基本情報技術者試験対策(5)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
6	基本情報技術者試験対策(6)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
7	漢検対策(1)	模擬問題演習、復習
8	漢検対策(2)	模擬問題演習、復習
9	午前分野の知識確認(1)	秋の本試験を受けての弱点分野の知識確認
10	午前分野の知識確認(2)	秋の本試験を受けての弱点分野の知識確認
11	【基本組】ハードウェア、ソフトウェア 【応用組】組み込みシステム開発	未実施の年度の基本情報技術者試験過去問題演習 リアルタイムOS、MPUアーキテクチャ
12	【基本組】データベース 【応用組】組み込みシステム開発	未実施の年度の基本情報技術者試験過去問題演習 省電力・高信頼設計・メモリ管理(7セグメントのLED表示タイマの開発)
13	【基本組】ネットワーク、セキュリティ 【応用組】組み込みシステム開発	未実施の年度の基本情報技術者試験過去問題演習 センサ・アクチュエータ、組み込みシステムの設計
14	【基本組】システム設計 【応用組】組み込みシステム開発	未実施の年度の基本情報技術者試験過去問題演習 個別アプリケーション(携帯端末・自動車・家電)の問題演習
15	【基本組】マネジメントとストラテジ 【応用組】公開鍵・共通鍵暗号方式	未実施の年度の基本情報技術者試験過去問題演習 ファイアウォールによるバケットフィルタリング、プロキシサーバの役割
16	【基本組】表計算演習 【応用組】攻撃手法	未実施の年度の基本情報技術者試験過去問題演習 代表的な攻撃手法
17	【基本組】過去問題演習 【応用組】過去問題演習	未実施の年度の基本情報技術者試験過去問題演習 応用情報技術者試験過去問題のセキュリティ分野について扱う

備考

-

ITエンジニア科4年制	1年
-------------	----

【前期】

科目	ハードウェア	分類	専門科目
担当	花田 秀宣		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター基本情報技術者試験対策テキスト (FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	30%	10%	10%	100%		

1. 授業の概要
経済産業省情報処理技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「ハードウェア」の知識を身に付ける。
2. 授業の目標(検定取得など)
(1)「ハードウェア」の基礎知識を押さえ、ITパスポート試験に合格する。 (2)「ハードウェア」の知識を応用し、基本情報技術者試験の午前修了認定試験の合格を目指す。
3. 注意点・要望
(1)分野の各項目が非常に多岐にわたるため、予習と復習をしっかりと行うこと。 (2)講義時間は終始、要点説明が主となるため、関連科目の時間での問題演習を通して知識を自分のものとして押さえること。
4. 関連科目
ソフトウェア、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ、検定対策Ⅰ

週	テーマ	内容
1	プロセッサ(1)	コンピュータの種類、コンピュータの構成、プロセッサのアーキテクチャ プロセッサの構造と形式、プロセッサの動作原理
2	プロセッサ(2)	プロセッサの性能、プロセッサの高速化技術 並列処理、マルチプロセッサシステム
3	メモリ(1)	メモリの種類と特徴、主記憶装置の構成、メモリシステムの構成と記憶階層
4	メモリ(2)	アクセス方式、メモリの容量と性能
5	バス	バスの種類と特徴、バスの制御方式、バスの標準規格
6	入出力装置	入力装置、出力装置、補助記憶装置
7	システムの構成(1)	システムの処理形態・利用形態、システム構成、クライアントサーバシステム
8	システムの構成(2)	RAID、SAN、NAS、信頼性設計
9	ハードウェア ヒューマンインタフェース	電気・電子回路、機械・制御、構成部品及び要素と実装、消費電力 ヒューマンインタフェース技術、インタフェース設計
10	ITパスポート試験対策(1)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
11	ITパスポート試験対策(2)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
12	ITパスポート試験対策(3)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
13	ITパスポート試験対策(4)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
14	ITパスポート試験対策(5)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
15	前期試験期間	効果測定

備考	元システムエンジニア、カスタマエンジニアの現場経験と長年情報処理試験対策に携わってきた経験を活かして講義する。
----	---

ITエンジニア科4年制	1年
-------------	----

【前期】

科目	ソフトウェア	分類	専門科目
担当	花田 秀宣		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター基本情報技術者試験対策テキスト (FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	30%	10%	10%	100%		

1. 授業の概要

経済産業省情報処理技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「ソフトウェア」の知識を身に付ける。

2. 授業の目標(検定取得など)

- (1)「ソフトウェア」の基礎知識を押さえ、ITパスポート試験に合格する。
- (2)「ソフトウェア」の知識を応用し、基本情報技術者試験の午前修了認定試験の合格を目指す。

3. 注意点・要望

- (1)分野の各項目が非常に多岐にわたるため、予習と復習をしっかりと行うこと。
- (2)講義時間は終始、要点説明が主となるため、関連科目の時間での問題演習を通して知識を自分のものとして押さえること。

4. 関連科目

ハードウェア、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ、検定対策Ⅰ

週	テーマ	内容
1	離散数学(1)	基数変換、数値の表現、算術演算と精度
2	離散数学(2)	集合と命題、論理演算
3	応用数学(1)	確率と統計、グラフ理論
4	応用数学(2)	待ち行列理論、最適化問題
5	情報、通信、計測制御に関する理論	符号理論、文字の表現、形式言語、オートマトン、人工知能
6	評価指標 オペレーティングシステム	システムの性能特性と評価、システムの信頼性特性と評価、OSの種類と特徴 OSの機能と構成、ジョブ管理、タスク管理、入出力管理、記憶管理
7	ミドルウェア ファイルシステム	ミドルウェアの役割と機能、シェルの役割と機能、API ディレクトリ管理とファイル管理、ファイル編成とアクセス手法、バックアップ
8	開発ツール オープンソースソフトウェア	開発支援ツールの種類と特徴、言語処理ツールの種類と特徴 オープンソースソフトウェア(OSS)、UNIX系のOSの特徴
9	マルチメディア技術、応用	音声処理、静止画処理、動画処理、情報の圧縮と伸張、マルチメディア応用
10	ITパスポート試験対策(1)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
11	ITパスポート試験対策(2)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
12	ITパスポート試験対策(3)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
13	ITパスポート試験対策(4)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
14	ITパスポート試験対策(5)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
15	前期試験期間	効果測定

備考	元システムエンジニア、カスタマエンジニアの現場経験と長年情報処理試験対策に携わってきた経験を活かして講義する。
----	---

ITエンジニア科4年制	1年
-------------	----

【前期】

科目	システム設計	分類	専門科目
担当	野本 修平		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター基本情報技術者試験対策テキスト (FOM出版)		
参考資料	配布プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
(1)システムのライフサイクルをメインに学習する。 (2)基本情報技術者試験のシステム開発に関する範囲を学習する。
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験の合格。
3. 注意点・要望
基本情報技術者試験の合格を最終目標とせず、IT現場で必須となるシステム開発に関する知識を身に付ける。
4. 関連科目
国家試験対策

週	テーマ	内容
1	授業の概要(全体と評価方法)説明 システム開発の全体像を説明	授業の概要説明(講義の全体スケジュールと評価方法、目指すべく目標) システム開発の流れ
2	システム要件定義 システム設計(1)	システム要件定義での機能要件 システム設計全体の流れ
3	システム設計(2)	システム方式設計(外部設計) ソフトウェア要件定義、方式設計、詳細設計(外部設計、内部設計、プログラム設計)
4	システム設計(3) システム設計手法(1)	システム側の設計、機能分割/階層構造とレビュー手順 モジュール分割、モジュールの独立性の評価
5	システム設計手法(2) オブジェクト指向	構造化設計とオブジェクト指向設計 UML概要(情報隠蔽、カプセル化クラス図・ユースケース・シーケンス図)
6	システム開発、テスト工程 システム導入	ソフトウェアユニットテスト、その他テスト内容全般 システムの受け入れ
7	運用保守 ソフトウェア開発管理手法と構成管理	ソフトウェアの開発プロセス、モデル 構成管理と変更管理
8	午前免除試験向け要点对策	午前免除試験に対する直前講座
9	クラス図とシーケンス図(1)	クラス図、シーケンス図の作成方法
10	クラス図とシーケンス図(2)	クラス図、シーケンス図の作成
11	クラス図とシーケンス図(3)	クラス図、シーケンス図を利用したドキュメンテーション
12	UML実践(1)	クラス図を利用したプレゼンテーション
13	UML実践(2)	クラス図を利用したプレゼンテーション
14	UML実践(3)	クラス図を利用したプレゼンテーション
15	前期試験期間	効果測定

備考	IT業界でプロジェクトマネージャー経験を5年以上持つ教員が、要件定義から運用保守までの実体験をもとに講義を行う。
----	--

科目	ストラテジとマネジメント	分類	専門科目
担当	花田 秀宣		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター基本情報技術者試験対策テキスト (FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	30%	10%	10%	100%		

1. 授業の概要

経済産業省情報処理技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「ストラテジ・マネジメント」の知識を身に付ける。

2. 授業の目標(検定取得など)

- (1)「ストラテジ・マネジメント」の基礎知識を押さえ、ITパスポート試験に合格する。
- (2)「ストラテジ・マネジメント」の知識を応用し、基本情報技術者試験の午前修了認定試験の合格を目指す。

3. 注意点・要望

- (1)分野の各項目が非常に多岐にわたるため、予習と復習をしっかりと行うこと。
- (2)講義時間は終始、要点説明が主となるため、関連科目の時間での問題演習を通して知識を自分のものとして押さえること。

4. 関連科目

ハードウェア、ソフトウェア、データベース、システム設計、ネットワークとセキュリティ、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ、検定対策Ⅰ

週	テーマ	内容
1	プロジェクトマネジメント(1)	プロジェクトマネジメントの概要、WBS、工数及び人数の見積もり、アローダイアグラム
2	プロジェクトマネジメント(2)	クラッシング、ファンクションポイント法、4つのリスク対応戦略、品質マネジメントに使われる各種図の特徴
3	サービスマネジメント	サービスマネジメントの概要、SLA、一斉移行方式、インシデント管理、バックアップ、サービスデスク、サーージ
4	システム監査、システム戦略(1)	監査の目的及び監査人の役割、監査人の独立性、IT統制、システム管理基準、EA、BPM、BPR、BPO
5	システム戦略(2)	クラウドサービス、ASP、SOA、データ活用、デジタルディバイド、システム化計画の注意点、企画プロセス、要件定義
6	システム戦略(3) 経営戦略マネジメント(1)	機能要件と非機能要件、CSRとグリーン調達、ベンチマーキング、PPM、コアコンピタンス、事業戦略に使われる分析手法
7	経営戦略マネジメント(2) ビジネスインダストリ(1)	ポジショニング戦略、プロダクトライフサイクル、コストプラス法、BSC、ナレッジマネジメント、CRM、SCM、生産方式の種類、MRP
8	ビジネスインダストリ(2) 企業活動(1)	eビジネスの取引例、ロングテール理論、EDI、CGM、RFID、ワークシェアリング、組織構造、会社における役職線形計画法、ABC分析、QC7つ道具
9	企業活動(2) 法務	損益分岐点及び目標売上高、貸借対照表、財務諸表の種類、先入先出法、減価償却、著作権の保護対象、著作権の帰属先、労働者派遣
10	ITパスポート試験対策(1)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
11	ITパスポート試験対策(2)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
12	ITパスポート試験対策(3)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
13	ITパスポート試験対策(4)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
14	ITパスポート試験対策(5)	ITパスポート試験と基本情報技術者午前修了認定試験の差分の講義、問題演習
15	前期試験期間	効果測定

備考	元システムエンジニア、カスタマエンジニアの現場経験と長年情報処理試験対策に携わってきた経験を活かして講義する。
----	---

ITエンジニア科4年制	1年
-------------	----

【前期】

科目	データベース	分類	専門科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター基本情報技術者試験対策テキスト(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(ITEC)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	20%	30%	50%	100%		

1. 授業の概要
データベースに関する基礎知識の学習。 基礎知識の応用方法を学習。
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験の午前免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する。 基本情報技術者試験の午後試験に合格する。
3. 注意点・要望
各授業の最後にチェックテストを行うので、各項目の習熟度を確実に把握し、復習を行うこと。
4. 関連科目
Oracleデータベース設計

週	テーマ	内容
1	データベースの利点と設計手法、 データモデル作成、スキーマ	データベースとは、設計(概念・論理・物理)手順、 各種データモデルの作成、データベースの定義(DDL)
2	排他制御と障害回復処理、 データベースの種類	トランザクション処理、排他制御、障害回復処理、 集中・分散データベース、データベースの応用、コミット
3	関係データベースの基本演算、 テーブル定義・検索、副問合せ	基本演算の種類、SQL、テーブル定義、テーブル検索、 副問合せ、単一行副問合せ、複数行副問合せ
4	ビュー定義、その他のSQL、 正規化対策	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新、正規化、第1正規化、第2正規化、第3正規化
5	基本情報技術者試験午前免除対策(1)	過去問題を使用した問題対策
6	基本情報技術者試験午前免除対策(2)	過去問題を使用した問題対策
7	基本情報技術者試験午前免除対策(3)	過去問題を使用した問題対策
8	SQL対策(1)	テーブル定義、テーブル検索
9	SQL対策(2)	副問合せ、単一行副問合せ、複数行副問合せ
10	SQL対策(3)	総合演習
11	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策
12	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策
13	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策
14	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策
15	前期試験期間	-

備考	-
----	---

科目	Oracleデータベース設計	分類	専門科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター基本情報技術者試験対策テキスト(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(iTEC)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

基礎知識を応用した実践的なデータベース設計技術及びSQL定義・操作の学習。
基本情報技術者試験の午後問題対策。

2. 授業の目標(検定取得など)

販売管理データベース(正規化、コード設計、E-R図、SQL定義・操作)の完成。
基本情報技術者試験の午後試験に合格する。

3. 注意点・要望

各自進捗状況の把握を徹底し、納期内(期限内)完了を常に意識すること。

4. 関連科目

データベース

週	テーマ	内容
1	基本情報技術者試験午後問題対策(1)	過去問題を使用した問題対策
2	基本情報技術者試験午後問題対策(2)	過去問題を使用した問題対策
3	基本情報技術者試験午後問題対策(3)	過去問題を使用した問題対策
4	基本情報技術者試験午後問題対策(4)	過去問題を使用した問題対策
5	基本情報技術者試験午後問題対策(5)	過去問題を使用した問題対策
6	基本情報技術者試験午後問題対策(6)	過去問題を使用した問題対策
7	データ分析	データ分析の重要性、データの関連性、データ項目の標準化、テストデータ作成
8	正規化、E-R図	非正規形から第3正規形への設計演習、E-R図作成演習
9	コード設計	コード設計の重要性、コード体系、コード設計演習
10	SQL	SQL定義・操作演習
11	総合演習(1)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
12	総合演習(2)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
13	総合演習(3)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
14	総合演習(4)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
15	総合演習(5)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
16	総合演習(6)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
17	後期試験期間	-

備考

-

科目	表計算演習 I	分類	専門科目
担当	野本 修平		
テキスト (出版社)	基本情報技術者 らくらく突破表計算 (技術評論社)		
参考資料	配布プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

基本情報技術者試験の表計算で利用する代表的な関数を学ぶ。

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の合格。

3. 注意点・要望

基本情報技術者試験の合格だけを目的とせず、Excelを利用した資料作成、データの操作ができるエンジニアを目指す。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	授業の概要(全体と評価方法)説明	授業の目標並びに進め方の説明、表計算の概要説明(利用シーン、頻度、等)
2	表計算ソフトのイメージを掴む(1)	基本的な用語の説明、簡単な計算式 相対参照、絶対参照について
3	表計算ソフトのイメージを掴む(2)	Excelを利用してどのような操作ができるかの説明 簡単な計算式、他のセルへのコピーなどを実施
4	簡単な関数(1)	合計、平均、整数部、余剰、個数関数の解説と演習問題の実施
5	簡単な関数(2)	最大、最小、切り上げ、切り捨て、四捨五入の解説と演習問題の実施
6	比較演算子	比較演算子を使った条件式、IF関数の解説と演習問題の実施
7	論理式	論理積、論理和関数等、条件の入れ子の解説と演習問題の実施
8	基本情報に出題傾向が高い関数(1)	照合検索関数の解説と演習問題の実施
9	基本情報に出題傾向が高い関数(2)	垂直照合、水平照合関数の解説と演習問題の実施
10	基本情報に出題傾向が高い関数(3)	照合一致、表引き関数の解説と演習問題の実施
11	基本情報に出題傾向が高い関数(4)	条件付き個数、条件付き合計関数の解説と演習問題の実施
12	午後問題演習(1)	過去問題を利用した問題演習と解説
13	午後問題演習(2)	過去問題を利用した問題演習と解説
14	午後問題演習(3)	過去問題を利用した問題演習と解説
15	前期試験期間	効果測定

備考

ITの現場にてExcelを利用した各種ドキュメント作成(プロジェクト憲章、計画書、RFI、RFP)の経験をもつ教員が講義を行う。

科目	表計算演習Ⅱ	分類	専門科目
担当	野本 修平		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016 対策テキスト&問題集 (FOM出版)		
参考資料	配布プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	20%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

- (1)基本情報技術者試験の表計算で利用する関数やマクロ処理などを学ぶ。
(2)Microsoft Office Specialist(Excel)に出題される内容を網羅的に学ぶ。

2. 授業の目標(検定取得など)

- (1)基本情報技術者試験の合格
(2)Microsoft Office Specialist(Excel)の合格

3. 注意点・要望

基本情報技術者試験の合格だけを目的とせず、Excelを利用した資料作成、データの操作ができるエンジニアを目指す。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	前期講義内容の復習	前期講義内容を試験形式で出題し、復習を行う
2	基本情報技術者試験対策(1)	基本情報技術者試験「表計算」の過去問題を実施問題を解くテクニックとポイントを解説
3	基本情報技術者試験対策(2)	基本情報技術者試験「表計算」の過去問題を実施問題を解くテクニックとポイントを解説
4	基本情報技術者試験対策(3)	基本情報技術者試験「表計算」の過去問題を実施問題を解くテクニックとポイントを解説
5	基本情報技術者試験対策(4)	基本情報技術者試験「表計算」の過去問題を実施問題を解くテクニックとポイントを解説
6	MOS(Excel)対策 試験概要、操作方法	Excelの操作方法、MOSの試験概要の説明
7	MOS(Excel)対策講義(1) (ワークシート、ブックに関する操作)	ブック、ワークシートの作成、コピー削除 ハイパーリンク、印刷設定
8	MOS(Excel)対策講義(2) (セルに関する操作)	セル内でのデータ挿入、フィルターや条件付き書式
9	MOS(Excel)対策講義(3) (テーブルに関する操作)	テーブル作成とデータの操作方法 グラフ操作、画像の挿入等
10	MOS(Excel)対策講義(4) (数式、関数)	数式と関数について (SUM、AVERAGE、MIN、MAX)
11	MOS(Excel)対策講義(5) (数式、関数)	数式と関数について (COUNT、COUNTBLANK、COUNTIF、SUMIF、AVERAGEIF)
12	MOS(Excel)対策講義(6) (数式、関数)	数式と関数について (文字操作系の関数全て)
13	MOS(Excel)対策(1)	本番試験を模した試験の実施
14	MOS(Excel)対策(2)	本番試験を模した試験の実施
15	MOS(Excel)対策(3)	本番試験を模した試験の実施
16	MOS(Excel)対策(4)	本番試験を模した試験の実施
17	後期試験期間	効果測定

備考	ITの現場にてExcelを利用した各種ドキュメント(プロジェクト憲章、計画書、RFI、RFP)作成の経験をもつ教員が講義を行う。
----	--

科目	アルゴリズムとデータ構造 I	分類	専門科目
担当	川島 慧		
テキスト (出版社)	2019年版 基本情報技術者午後・アルゴリズム編 (日本経済新聞出版社)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	25%	0%	0%	25%	25%	25%	100%		

1. 授業の概要

ITパスポート試験、基本情報技術者試験合格に必要な「アルゴリズムとデータ構造」の知識を身に付ける。
知識・理論を習得するための講義と問題演習を中心に行う。

2. 授業の目標(検定取得など)

「アルゴリズムとデータ構造」の基礎知識を押さえ、ITパスポート・基本情報技術者試験の午前修了認定試験の合格を目指す。
アルゴリズム、流れ図の基本的な考え方と設計方法を修得し、プログラミング学習に活かす力を身に付ける。

3. 注意点・要望

パターン丸暗記ではなく、問題文やデータの並び・動きを視覚化できるよう、授業直前は脳を休憩させること。
アルゴリズムの学習には根気がいるため、少しでもできなくてもあきらめず最後まで勉強し続けることが重要。

4. 関連科目

検定対策 I・II、国家試験対策、Java言語演習 I・II

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション 処理手順	授業の目標、進め方及び評価方法の理解 アルゴリズム・流れ図の基本的な考え方、表現方法の理解
2	流れ図(1)	変数、代入文、不等式など処理手順の表現方法の理解
3	流れ図(2)、配列データ構造	順次、判定、繰返し、配列操作など処理手順の表現方法の理解
4	流れ図総合問題演習	分岐、繰返し、配列の総合問題演習
5	最大値と最小値、合計と平均	流れ図で出てくる最大値と最小値、合計と平均の表現方法の理解
6	探索、整列	線形探索、二分探索、スタック、キューなど処理手順の表現方法の理解
7	二重ループ、二次元配列	繰返し(二重)、二次元配列など処理手順の表現方法の理解
8	午前修了認定試験対策	探索・整列・構造の午前修了認定試験向けポイント整理
9	疑似言語(1)	疑似言語の記述形式、データ型の理解
10	疑似言語(2)	関数の呼び出し、引数、戻り値、大域変数の理解
11	疑似言語(3)	分岐、多重分岐の処理手順の表現方法の理解
12	疑似言語(4)	繰返し、多重繰返し、前判定、後判定の処理手順の表現方法の理解
13	探索アルゴリズム	線形探索、二分探索の処理手順の疑似言語による表現方法の理解
14	整列アルゴリズム	バブルソートの処理手順の表現方法の理解
15	前期試験期間	効果測定

備考

-

科目	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	分類	専門科目
担当	川島 慧		
テキスト (出版社)	2019年版 基本情報技術者午後・アルゴリズム編 (日本経済新聞出版社)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	10%	40%	100%		

1. 授業の概要

秋期基本情報技術者試験合格に向け、問題演習を通じた解答テクニック・解答パターンをマスターする。
基本情報技術者試験終了後は、Javaでこれまで学んだアルゴリズムをコーディングすることで、理解を確かなものにする。

2. 授業の目標(検定取得など)

秋期基本情報技術者試験に合格する。
基本アルゴリズムをコーディングすることで、今後のプログラミング学習を飛躍させる。

3. 注意点・要望

パターン丸暗記ではなく、問題文やデータの並び・動きを視覚化できるよう、授業直前は脳を休憩させること。
アルゴリズムの学習には根気がいるため、少しでもできなくてもあきらめず最後まで勉強し続けることが重要。

4. 関連科目

検定対策Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策、Java言語演習Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	文字列処理アルゴリズム	文字列操作、部分文字列検索の処理手順の表現方法の理解
2	配列データ構造	リスト構造、2次元配列の表現方法の理解
3	基本情報技術者試験対策(1)	過去問演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
4	基本情報技術者試験対策(2)	過去問演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
5	基本情報技術者試験対策(3)	過去問演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
6	基本情報技術者試験対策(4)	過去問演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
7	データ構造(1)	単方向(連結)リストの構造把握及び実装
8	データ構造(2)	双方向(重連結)リストの構造把握及び実装
9	データ構造(3)	木構造(幅優先、深さ優先)把握及び実装
10	データ構造(4)	二分探索木の考え方整理及びデータ探索、追加の実装
11	データ構造(5)	二分探索木の考え方整理及びデータ探索、追加の実装
12	データ構造(6)	スタック・キュー構造把握及び実装
13	データ構造(7)	バブルソートの構造把握及び実装
14	再帰的アルゴリズム(1)	再帰の考え方整理及び実装
15	再帰的アルゴリズム(2)	ハノイの塔の構造把握及び実装
16	再帰的アルゴリズム(3)	ハノイの塔の構造把握及び実装
17	後期試験期間	効果測定

備考

-

科目	Java言語演習 I	分類	専門科目
担当	川島 慧		
テキスト (出版社)	スッキリわかる Java入門 第2版 (インプレス)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	50%	0%	20%	20%	0%	10%	100%		

1. 授業の概要

Java言語のみならず、プログラミング言語一般で必要とされる制御文の役割と使い方を学ぶ。
習うより慣れるスタイルでどんどんプログラミングを行い、適宜筆記の小テストを実施することで、知識の定着を図る。

2. 授業の目標(検定取得など)

問題解決にあたって、プログラムの構築からプログラミングによる実装までを一貫して行えるようにする。
ITパスポート試験、基本情報技術者試験、Java Bronzeの合格。

3. 注意点・要望

積み上げによる学習が大事なので、基礎をおろそかにせず、一つひとつの技術を確実に身に付けること。
自らの手でプログラムを組み、頭だけでなく体で技術を身に付けること。

4. 関連科目

Java言語演習Ⅱ、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション Java言語の概要と開発環境構築	授業の目標、進め方及び評価方法の理解 Java言語の用語理解(JVM、コンパイル等)、統合開発環境(IDE)の使い方
2	プログラムの基本的な書き方	プログラムの全体構成、ブロックとインデント、コメント文、 2種類のコンソール出力(printlnメソッドとprintメソッド)
3	様々なデータ型	データ型の種類と役割、変数及び変数宣言、自動型変換
4	変数とキーボード入力	変数とキーボードから入力した値を扱う
5	式と演算子	加減乗除など代表的な演算子、インクリメントとデクリメント、演算子の優先順位
6	分岐処理(1)	if文を使った分岐処理
7	分岐処理(2)	関係演算子と等価演算子、if～else文
8	分岐処理(3)	if文を使った複数条件分岐、switch文を使った分岐処理
9	条件演算子	演算子(関係、論理、条件、文字列比較)、既出の演算子の総確認
10	繰返し処理(1)	for文を使った繰返し処理
11	繰返し処理(2)	while文を使った繰返し処理
12	配列(1)	配列の仕組み、配列宣言と利用方法
13	配列(2)	繰返し文と配列を組み合わせたプログラム作成
14	クラスとインスタンス	オブジェクト指向の考え方、クラス構造、クラスとインスタンスの作成
15	前期試験期間	効果測定

備考

-

科目	Java言語演習Ⅱ	分類	専門科目
担当	川島 慧		
テキスト (出版社)	スッキリわかる Java入門 第2版 (インプレス)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	50%	0%	20%	20%	0%	10%	100%		

1. 授業の概要

Java言語のみならず、プログラミング言語一般で必要とされる制御文の役割と使い方を学ぶ。
Java言語の重要概念である「オブジェクト指向」の基礎を身に付ける。

2. 授業の目標(検定取得など)

問題解決にあたって、プログラムの構築からプログラミングによる実装までを一貫して行えるようにする。
ITパスポート試験、基本情報技術者試験、Java Bronzeの合格。

3. 注意点・要望

積み上げによる学習が大事なので、基礎をおろそかにせず、一つひとつの技術を確実に身に付けること。
自らの手でプログラムを組み、頭だけでなく体で技術を身に付けること。

4. 関連科目

Java言語演習Ⅰ、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	フィールド	フィールドの概要、使い方
2	メソッド	メソッドの構造と作成方法(引数・戻り値)、呼び出し方
3	カプセル化	カプセル化の目的、実装(フィールド隠蔽、ゲッター・セッター)
4	クラス図	クラス図の見方
5	コンストラクタ	コンストラクタの概要と使い方
6	中間課題(1)	1~5週で学んだ内容を用いたプログラムを2つ完成させる
7	オーバーロード	オーバーロードの概要、実装方法
8	インスタンスメソッドとクラスメソッド	各メソッドの特徴(違い)、実装方法
9	継承	継承(インヘリタンス)の概要(スーパークラス、サブクラス)、継承ツリー
10	コンストラクタと継承	継承におけるコンストラクタの特徴、実装方法
11	オーバーライド	オーバーライドの概要、実装方法
12	抽象クラス	抽象クラスの概要・利点、実装方法
13	抽象メソッド	抽象メソッドの概要・利点、実装方法
14	中間課題(2)	1~13週で学んだ内容を用いたプログラムを2つ完成させる
15	パッケージ管理	パッケージ管理の概要、利用方法
16	インポート宣言	インポート宣言の概要、利用方法
17	後期試験期間	効果測定

備考

-

科目	検定対策 I	分類	専門科目
担当	川島 慧・花田 秀宣		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター基本情報技術者試験対策テキスト (FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	0%	50%	10%	40%	100%		

1. 授業の概要

ITパスポート試験、基本情報技術者試験及び午前免除試験に合格するための学習。

2. 授業の目標(検定取得など)

ITパスポート試験、基本情報技術者試験及び午前免除試験に合格する。

3. 注意点・要望

各試験対策を並行して学習するため、スケジュール管理を徹底すること。

4. 関連科目

ハードウェア、ソフトウェア、ストラテジとマネジメント、データベース、システム設計、ネットワークとセキュリティ、アルゴリズムとデータ構造 I、表計算演習 I

週	テーマ	内容
1	午前免除対策(1)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
2	午前免除対策(2)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
3	午前免除対策(3)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
4	午前免除対策(4)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
5	午前免除対策(5)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
6	午前免除対策(6)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
7	午前免除対策(7)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
8	午前免除対策(8)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
9	ITパスポート試験対策(1)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
10	ITパスポート試験対策(2)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
11	ITパスポート試験対策(3)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
12	ITパスポート試験対策(4)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
13	ITパスポート試験対策(5)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
14	ITパスポート試験対策(6)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習
15	ITパスポート試験対策(7)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習

備考

-

科目	検定対策Ⅱ	分類	専門科目
担当	川島 慧・花田 秀宣		
テキスト (出版社)	徹底攻略Cisco CCNA/CCENT ICND1編(インプレス) 本校のオリジナルテキスト		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	0%	60%	0%	40%	100%		

1. 授業の概要

基本情報技術者試験対策や2年次に学習するCCENTの基礎となるネットワーク知識を習得する。

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験、2年次のCCENTに合格する。

3. 注意点・要望

各試験については並行しての受験となる為、スケジュール管理を徹底していくこと。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	基本情報技術者試験対策(1)	関連科目の講義内容の復習、過去問題演習 分野別問題演習
2	基本情報技術者試験対策(2)	関連科目の講義内容の復習、過去問題演習 分野別問題演習
3	基本情報技術者試験対策(3)	関連科目の講義内容の復習、過去問題演習 分野別問題演習
4	基本情報技術者試験対策(4)	関連科目の講義内容の復習、過去問題演習 分野別問題演習
5	基本情報技術者試験対策(5)	関連科目の講義内容の復習、過去問題演習 分野別問題演習
6	基本情報技術者試験対策(6)	関連科目の講義内容の復習、過去問題演習 分野別問題演習
7	ネットワークの基礎知識	ネットワークとは (トラフィック、スループット、帯域幅などネットワークの基礎用語の確認)
8	OSIモデル	OSI参照モデルの概要と カプセル化の流れ、ネットワークポロジとネットワーク機器
9	レイヤ1	メディア(ケーブル)の種類と特徴、 各機器の接続。コリジョン(衝突)とコリジョンドメイン
10	レイヤ2(1)	MACアドレス、フレームの書式と役割
11	レイヤ2(2)	レイヤ2スイッチとブリッジ、コリジョンドメインの分割、全二重通信と半二重通信
12	レイヤ3(1)	ルーティングの動作、IPアドレスとMACアドレスの違い
13	レイヤ3(2)	IPアドレッシング(IPアドレスの理論、IPアドレスの計算)
14	レイヤ4(1)	ルーティングプロトコル(RIP、OSPF、EIGRP)
15	レイヤ4(1)	TCPとUDP、トランスポート層の役割
16	レイヤ4(2)	コネクション型通信
17	レイヤ5～7、TCP/IPモデル	セッション層・プレゼンテーション層の概要、アプリケーション層のプロトコル

備考

-

ITエンジニア科4年制	1年
-------------	----

【前期】

科目	就職講座B I	分類	教養科目
担当	花田 秀宣		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	60%	10%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
就職活動や大学・専門学校の授業に備えた論理的思考力、数学的思考力を身に付ける。
2. 授業の目標(検定取得など)
各種検定試験の合格、大学の課題(レポート・テスト)に対応できる。
3. 注意点・要望
能力向上のためにはある程度の練習が必要です。自らの力を伸ばす為に、課された課題に積極的に取り組んでください。
4. 関連科目
-

週	テーマ	内容
1	授業の概要説明、文章構成	授業の概要説明、要約の書き方
2	要約の練習(1)	課題文を読み、要約をする
3	要約の練習(2)	課題文を読み、要約をする
4	レポート作成(1)	レポートの書き方(基礎編)を理解し、テーマに沿ったレポートを作成
5	レポート作成(2)	テーマに沿ったレポートを作成
6	レポート作成(3)	レポートのブラッシュアップとレポートの完成
7	論理的思考力を鍛える(1)	論理的思考力の基礎を身に付ける
8	論理的思考力を鍛える(2)	事例に則り、論理的思考力を鍛える
9	論理的思考力を鍛える(3)	事例に則り、論理的思考力を鍛える
10	論理的思考力を鍛える(4)	事例に則り、論理的思考力を鍛える
11	数学的思考力とは	論理的思考力の発展形である数学的思考力の基礎を身に付ける
12	数学的思考力を鍛える(1)	事例に則り、数学的思考力を鍛える
13	数学的思考力を鍛える(2)	事例に則り、数学的思考力を鍛える
14	数学的思考力を鍛える(3)	事例に則り、数学的思考力を鍛える
15	数学的思考力を鍛える(4)	事例に則り、数学的思考力を鍛える

備考	-
----	---

科目	就職講座BⅡ	分類	教養科目
担当	花田 秀宣		
テキスト (出版社)	ビジネス能力検定 ジョブパス3級 公式テキスト (日本能率協会マネジメントセンター)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	30%	20%	10%	40%	100%		

1. 授業の概要

社会人にとって必要な仕事・人間関係・マナーなどのビジネス能力の基本を学び、実務に即した知識技能を身に付ける。

2. 授業の目標(検定取得など)

ビジネス能力検定 ジョブパス3級。

3. 注意点・要望

- (1)頭と手をフル稼働するため、しっかり体調を整えて授業に取り組むこと。
(2)前期で学んだ文章構成力は、後期でも使うので、逐一思い出す時間を取る。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	導入・概要仕事と社会人の意欲	ビジネス実務と授業の概要を理解する。仕事への取り組み方を学び、社会人を意識する
2	ビジネスマナー	お辞儀、挨拶、身だしなみなどのビジネスマナーについて学び、実践できるようにする
3	仕事の基本	仕事の基本姿勢である8つの意識を考察し、仕事の理解を深める
4	仕事への取り組み	業務の流れを知り、効率的な仕事の進め方を理解する
5	指示・報告・連絡・相談	指示の受け方と報告・連絡・相談のポイントとその仕方を学ぶ
6	ビジネス対応	個々のビジネス事例にどのように対応してゆくのかを学ぶ
7	情報収集とメディア	新聞やインターネットなど、さまざまなメディアからの情報収集力を養う
8	統計データの読み方	データの読み方とまとめ方を学び、その分析力を養う
9	検定対策(1)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習を行う
10	検定対策(2)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習を行う
11	検定対策(3)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習を行う
12	検定対策(4)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習を行う
13	業務とスケジュール管理	業務とマニュアルの効果について理解し、スケジュール管理や情報の整理法を学ぶ
14	ビジネスケース(1)	さまざまなケースを踏まえて、具体的なビジネス問題解決法を学び、ビジネスの本質を理解する
15	ビジネスケース(2)	さまざまなケースを踏まえて、具体的なビジネス問題解決法を学び、ビジネスの本質を理解する
16	ビジネスケース(3)	さまざまなケースを踏まえて、具体的なビジネス問題解決法を学び、ビジネスの本質を理解する
17	ビジネスケース(4)	さまざまなケースを踏まえて、具体的なビジネス問題解決法を学び、ビジネスの本質を理解する

備考

-

ITエンジニア科4年制	1年
-------------	----

【前期】

科目	やってみなはれ演習 I	分類	教養科目
担当	川島 慧		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	50%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

学校行事(若幸祭など)を題材に、「仕事に就き活躍する」ためのスキル向上を目指す。

2. 授業の目標(検定取得など)

基礎的・汎用的能力(主に人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力)の向上。

3. 注意点・要望

自主性・主体性を前面に押し出した科目になるため、積極的に意見を述べ、様々な人とモメ、成功・失敗体験を積んでほしい。

4. 関連科目

ビジネス関連科目全て

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション	やってみなはれ演習の概要、各行事に対する役割分担の決定、行動指針の確認
2	基礎的・汎用的能力の理解	基礎的・汎用的能力(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)の内容確認
3	レポート作成(1)	前期で培いたい基礎的・汎用的能力について、800字程度のレポートにまとめる
4	レポート提出、ディスカッション	提出したレポートをもとに、どうしたら身に付くかクラスメートと話し合い、その内容を共有し、基礎的・汎用的能力の理解深化を促す
5	基礎的・汎用的能力の実践(1)	グループに分かれ、若幸祭のクラス企画を検討及び立案
6	基礎的・汎用的能力の実践(2)	立案した企画に関する予算及び収支の検討
7	基礎的・汎用的能力の実践(3)	企画内容・予算・収支を発表、質疑応答
8	基礎的・汎用的能力の実践(4) 振り返り	企画決定、5~7週に行った内容について各グループ振り返りを行い、できた点・改善点をクラス全体で共有
9	基礎的・汎用的能力の実践(5)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
10	基礎的・汎用的能力の実践(6)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
11	基礎的・汎用的能力の実践(7)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
12	振り返り	9~11週で行った活動に関してグループで振り返りを行い、できた点・改善点をクラス全体で共有
13	基礎的・汎用的能力の実践(8)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
14	レポート作成(2)	3週目で整理した自分が身に付けたい基礎的・汎用的能力について、どれくらい身に付いたか(できた点・できなかった点)を、800字程度のレポートにまとめる
15	前期試験期間	レポート修正及び提出

備考	-
----	---

科目	やってみなはれ演習Ⅱ	分類	教養科目
担当	川島 慧		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	50%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

学校行事(若幸祭など)や教員から提案する課題を題材に、「仕事に就き活躍する」ためのスキル向上を目指す。

2. 授業の目標(検定取得など)

基礎的・汎用的能力(主に人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力)の向上。

3. 注意点・要望

自主性・主体性を前面に押し出した科目になるため、積極的に意見を述べ、様々な人とモメ、成功・失敗体験を積んでほしい。

4. 関連科目

ビジネス関連科目全て

週	テーマ	内容
1	後期演習内容ガイダンス	後期の行事、並びに「基礎的・汎用的能力」を意識した活動計画の立案及び共有
2	レポート作成(1)	後期で培いたい基礎的・汎用的能力について、800字程度のレポートにまとめる
3	レポート提出、ディスカッション	提出したレポートをもとに、どうしたら身に付くかクラスメートと話し合い、その内容を共有し、基礎的・汎用的能力の理解深化を促す
4	基礎的・汎用的能力の実践(1)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
5	基礎的・汎用的能力の実践(2)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
6	基礎的・汎用的能力の実践(3)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
7	基礎的・汎用的能力の実践(4)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
8	振り返り	4～7週に行った内容及び若幸祭全体について各グループ振り返りを行い、できた点・改善点をクラス全体で共有
9	基礎的・汎用的能力の向上(1)	基礎的・汎用的能力(主に人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力)の向上に向け、グループワークを実施
10	基礎的・汎用的能力の向上(2)	基礎的・汎用的能力(主に人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力)の向上に向け、グループワークを実施
11	基礎的・汎用的能力の向上(3)	グループワークの成果発表
12	基礎的・汎用的能力の向上(4)	基礎的・汎用的能力(主に人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力)の向上に向け、グループワークを実施
13	基礎的・汎用的能力の向上(5)	基礎的・汎用的能力(主に人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力)の向上に向け、グループワークを実施
14	基礎的・汎用的能力の向上(6)	グループワークの成果発表
15	振り返り	9～14週に行った内容について各グループ振り返りを行い、できた点・改善点をクラス全体で共有
16	レポート作成(2)	2週目で整理した自分が身に付けたい基礎的・汎用的能力について、どれくらい身に付いたか(できた点・できなかった点)を、800字程度のレポートにまとめる
17	後期試験期間	レポート修正及び提出

備考

-

MEMO

A memo template consisting of a large rectangular area with a solid black border. Inside this area, there are 25 horizontal dotted lines, evenly spaced, providing a guide for writing. The lines are parallel and extend across the entire width of the grid.

MEMO

A large rectangular area with a solid black border, containing 25 horizontal dashed lines for writing. The lines are evenly spaced and extend across the width of the rectangle, providing a guide for text entry.

